

すまいる きづ川

春号



理事長からのご挨拶
京都きづ川病院の25年間

もっと知りたい!
スタッフインタビュー

城陽名所めぐり
鴨谷の滝

啓信会グループのご紹介
ヘルパースクール 萌木の村

病院食あれこれ
【旬の素材】 鯖 さわら

パートナー医院を紹介します
堀士医院 内科・消化器科

医療トピックス
乳がんの早期発見に
マンモグラフィ

医療ニュース
患者様の個人情報と
プライバシーについて

ニュース掲示板

京都きづ川病院の25年間

医療法人啓信会
理事長 中野 博美



春爛漫の頃、皆様方におかれましては益々ご清栄のことと存じます。

さて、京都きづ川病院が開設されてから今年で25年目を迎えます。この病院の歴史はまさに厚生労働省が進める地域医療計画の時期と一致しています。病院は制度とともに発展し、制度とともに問題点を生み出して悩み、そして改善を積んできた歴史の25年といえます。振り返りますと最初の10年間は、開設から南山城地域に定着するための時期でした。救急病院として、交通外傷から急病治療と、この地域のすべての救急患者様を受け入れる気概で頑張りました。次の10年間は、着実に発展した時期であります。地域にも認知され急病以外の患者様にもたくさん利用していただけるようになりました。そして最近の5年間は改革の時期と位置づけることができるでしょう。国の医療費削減政策が進行する中、医療の質を

維持しつつ運用の効率化を図ることが求められています。なかなか難しい課題ですが進めなくてはなりません。

一方、医療は日々稼動しています。国の制度が変わったからといって、病院が今まで提供していたことを明日からできなくなるというのも、利用されている方々にはわかりにくいものであります。現場担当者としては、是非とも国民の方々にわかりやすい制度になって欲しいと祈っています。

私共は今後のキーワードとして次の二つを大切にしたいと考えています。それは「地域」と「健康」であります。「地域」について……

医療は提供側と受療側の信頼関係が重要です。地域の方々との日頃からの信頼関係が不可欠と考えています。それを達成できるのは病院が存在する地域社会の単位だと思えます。それまで

だけ小さな単位の地域社会との関係が大切と考えています。病院は日頃から地域社会活動に参加をすることで、地域の方々に病院の社会資源としての側面を認知していただきたいと考えています。

「健康」について……

医療の発展の過程で、病気というものの中には急に発症して避けられないものと、事前に準備をしていれば十分避けられるものがあるということがわかってきました。病気になったら治療のために病院へ行くというだけでなく、病気を発症させないために、あるいは健康維持のために病院を利用することも、知恵のひとつとして活用していただきたいと思えます。

京都きづ川病院ではいつも「献身と信頼」の理念で患者様方に接しています。今後とも厳しくご意見を賜りますようお願い申し上げます。

もっつ

知りたい!

スタッフインタビュー



あれこれ悩んでいないで、 一刻も早く病院へ来て相談してください。

京都市つ川病院 循環器内科 松井浩之先生



「患者さんの立場に立った治療」
当たり前のように、
これが一番、難しい

医者は往々にして、患者さんよりも患者さんの病気に目を向けがちになります。つまり「木を見て森を見ず」という状態です。

たとえば、ある患者さんにとって、病気を治すためには手術をした

ほうが良いとします。しかしその一方で、患者さんの肉体的負担や苦痛、今後の生活のことなどを考えると果たしてその手術が正解なのか、ということもあります。

もちろん、生死に関わる緊急の場合は別ですが、私たち医者は専門家がかりにならず、患者さんにとりまく諸々の事情や背景をも考慮しながら「患者さんの立場に立った治療」を心がけるべきだと思います。

悩んでいないで、
相談に来てください

私の場合、医者を志す大きなきっかけやドラマチックなエピソードがあつたわけではありません。兄が医学部で勉強していたためか、気がついたら私も医学部に入学し、

医者になりました。

医者が患者さんにかける言葉に万人共通のものはありません。

楽観的な人、心配性で神経質な人、痛みや苦しみを我慢する人などさまざまタイプがありますから、人となりや性格をよく見極めて、適切な言葉をかけることが大切です。病気の心配がある時は、ひとりで悩まずに一刻も早く相談に来てください、と申し上げます。

プロフィール

京都府立医科大学卒、42歳。平成15年4月から京都市つ川病院に勤務。現在に至る。



鴨谷の滝



このような滝が大小合わせて18もあるといわれています。

ご存じでしたか？ 青谷川の上流にある鴨谷の滝は、「京都の自然200選」にも選ばれている素晴らしい自然の名所です。木々が繁り鳥がさえずる山の奥、道も定かではない場所に、大きくはないけれども清水湛える滝がいくつも飛沫をあげているのです。

城陽に残る太古の自然

鴨谷の滝は、古くは「太平記」にも登場するといえます。市街地がどんどん近代化されていく中、太古の自然が残る山の存在は現代の奇跡といえるかもしれません。この鴨谷の滝について書かれた過去の記事を見てみましょう。

「青谷川の上流に鴨谷あり、この溪流に本瀧、椎尾（シイオ）、唐櫃（カラト）、龍王、高塚など十八瀧あり、水は飽くまで清く、冷気あたりをこめて夏尚寒し。」

（昭和16年4月1日発行『青谷村誌』第四章第一節の二、鴨谷十八瀧）

「青谷の東方、椎尾山中、鴨谷付近の溪流にかかる瀑布をい、一に「鴨谷ノ滝」とも「唐櫃ノ滝」ともいふ。鴨谷一八滝の一つで、付近にはまだ多くの滝があり、水は清冷で夏なお肌寒きを覚え、古来「ほととぎす」の名所として杖を引くものが多い。」

（昭和44年3月30日発行『城陽町誌』第一巻、第三章第四節の五、椎尾ノ滝）

「椎尾ノ滝は椎尾山中、鴨谷付近の溪流にかかる瀑布をい、一に「鴨谷ノ滝」とも「唐櫃ノ滝」ともいふ。鴨谷一八滝の一つで、水は岩にせかれて二段となり、水声をとどろかしている。落差はいずれも三メートル。」

（昭和55年発行『昭和京都名所圖會』）

澄んだ水が白い飛沫を上げて落ち、木々の緑とあいまってひんやりした空気の心地よさそうな様子が目に浮かびます。森林浴も兼ねて、ぜひ訪れてみたいところ。

場所は、国道307号線の鴨谷バス停下車、レストランの向かいの道、「高塚林道」を奥へ進みます。この林道は全長1キロ余、道幅3メートルで、クヌギやスギ、ヒノキといった木々やススキ、ハギなど草花が生い茂り、国道の喧騒はどこへやら、どこからか聞こえる水音と鳥のさえずりを楽しむことができます。

❗ 滝へは一人で行かないで!

鴨谷の滝の数々は、林道に沿って行くだけでは見ることができません。脇道から河原に降りたり、斜面を登ったり、道のないところを分け入って岩づたいに歩いたりしなければなりません。かなり危険をとまないので、絶対に一人では山に入らないようにしましょう。ぜひ滝を見たいという方は観光協会へご一報ください。アドバイスをしたり、ガイドのご相談にも応じています。

城陽市観光協会

〒610-0121 京都府城陽市寺田樋尻45-26
 ☎(0774)56-4029 ☎(0774)55-0560
 URL <http://www.joyo-kankou.jp/>
 E-mail info@joyo-kankou.jp

ヘルパースクール 萌木の村

現在、社会的ニーズが非常に高いホームヘルパー。医療法人啓信会では「ヘルパースクール 萌木の村」を宇治市大久保と滋賀県大津市に開設、ホームヘルパーを養成しています。研修講座は2級と1級の課程があり、約3か月にわたるスクーリングが行われます。

通信学習と演習で ヘルパー2級資格を効率よく取得

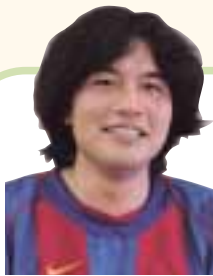
今回は、大久保校で開講している2級課程をご紹介します。現在24名の受講生が資格取得に向けて研修中。この2級講座は、教科書とオリジナル問題集による自宅学習、スクール内での演習、施設での実習という3段階のカリキュラムで構成されています。自宅学習では約3週間にわたり介護の基本知識を勉強し、期間中に3回の添削問題をクリアしなければなりません。2段階めの演習では、経験豊富な「萌木の村」所属の講師から、現場で必要な介護技術を実地に学びます。そして最終ステップでは、いよいよ施設や在宅現場に赴き、実際に利用者と関わりながら介護技術を身につけます。これを修了すると、約3週間後に訪問介護員2級の資格が認定されるのです。

今後さらに需要が広がるホームヘルパー

大久保校の受講生の皆さんに聞くと、「要介護の家族がいる」「将来、自分の親の面倒を見たい」あるいは「就職のための資格取得」「介護を必要とする人たちの役に立ちたい」など、その目的はさまざまです。授業の雰囲気は和気あいあいとしているものの、高齢社会で重要な役割を担うホームヘルパーをめざす皆さんの姿勢は真剣そのもの。

厚生労働省によると、平成15年度末の介護認定者は全国で384万人。前年度比11.3%増、介護保険法施行後4年間で1.5倍となっています。さらに2015年には、団塊世代と呼ばれる年代層の人たちがすべて65歳以上となり、今後ますます高齢社会が本格化する中、ホームヘルパーの社会的需要は高まる一方といえるでしょう。

受講生の声



受講生 西川 純さん

身内に介護が必要になったのに何もできなくて、その時、ここで受講していた友達から話を聞き、ぜひ入学したいと思ったのです。現在、1日約6時間の授業を受けていますが、とても充実しています。実際に就職した時のことを思うと不安はありますが、何が何でもこの仕事を続けていく覚悟です。それには勉強。上を目指してとにかく勉強あるのみです。



受講生 木野瀬 まゆさん

身の回りのお世話だけにとどまらず、人間として自立してもらうための心のケア、メンタルな部分が重要な仕事だということ、受講して初めて知りました。自分の親の面倒を最後まで見たいという気持ちで入学したのですが、年齢の異なる受講生みんなが同じ目標に向かって心を一つにしながら、友達のように仲よく、研修がとても楽しいです。

卒業生の声



卒業生 佐川 和裕さん

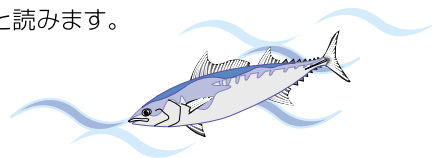
現在ヘルパー2級の資格を持ち、この「萌木の村」で勤務しています。つい先日、介護福祉士の試験を受けて一次試験は合格。この『すまいる きづ川』が発行される頃には最終結果が出ていると思います。

約3年前に「ヘルパースクール 萌木の村」に入学しました。それまではまったく畑違いの分野にいたので、当時はヘルパーという仕事についての知識は白紙状態。不安をもったまま受講し始めましたが、先生方がとても明るくて、元気がよくて、授業が面白い。これならやっていけるかも、という自信めいたものが湧いてきたのです。働き始めた当初はがむしゃらで無我夢中。でも今やっと、まわりを見渡しながら落ち着いて仕事ができるようになりました。ようやく、介護とは何かということがわかってきたような気がします。



● 病院食 あれこれ

さかなへんに春と書いて、「鱈」。「さわら」と読みます。
春の代表的な魚として、お馴染みです。



【旬の素材】 鱈 さわら

動脈硬化の予防によいサワラ

自身の魚と思われがちなサワラはサバの仲間で、正しくは赤身の魚。成長するにつれて呼び名が変わる出世魚です。餌にサバ、イワシ、サンマなどを食べているためDHAやEPAを多く含み、血栓の抑制、高コレステロールや動脈硬化の予防によいといわれています。

サワラは高速で移動する回遊魚で、群れが沿岸を通る時期が旬。駿河湾では10月から11月、瀬戸内海では3月から5月となります。丸々と太ったサワラが産卵にやってくる春の瀬戸内海では、毎年大漁を誇っています。とくに、「旨いサワラは岡山に集まる」といわれるほど消費量も市場取扱高も大きい岡山県ではサワラ料理が盛ん。伝統料理「ばらずし」もそのひとつです。また、寒い時期の「寒ザワラ」の刺身は脂がのって味が格別だとか。ただし鮮度落ちが早く、縮めてから24時間以内に食べないと、身が軟

らかくなり風味も落ちてしまうそうです。

味噌漬けて おいしさも栄養価もアップ!

実は、日本沿岸におけるサワラの漁獲高は年々減ってきており、中国産、韓国産、西アフリカ産などの冷凍ものがたくさん出回るようになりました。刺身、塩焼き、煮つけ、照り焼き、吸い物、酢の物、西京(味噌)漬けなど、いろいろな調理のしかたを楽しめるサワラ。中でも西京漬は、白味噌の風味とサワラの相性がとてもよく、代表的な料理といえるでしょう。



「ある日」のメニュー

サワラの西京焼、オクラのゴマ和え、ひじきの煮つけ、なめこのすまし汁

◆ 管理栄養士 山田 珠子

DHA(ドコサヘキサエン酸)…脳の動きを活発にし、記憶力や学習能力を高める働きをします。動脈硬化やガン予防にも効果的。
EPA(エイコサペンタエン酸)…血液の流れを妨げる悪いコレステロールや脂肪を減らす働きをします。動脈硬化や心筋梗塞、脳血栓などを予防。

堀士医院 内科・消化器科

京都府城陽市富野乾垣内80 TEL.0774-52-1428

昭和26年以来地元で開業されてきた先代の跡を継いで地域医療に携わっておられる堀士医院・堀士雅秀先生を紹介します。



院長 堀士 雅秀先生

地元の人々のホームドクター

先代から約半世紀にわたって富野荘で開業されている堀士医院。「ここで長く開業していますから地元の方々の信頼はことのほか厚く、親子2代、3代にわたって来院される方も多いんですよ」と堀士先生。地元民のホームドクター的存在であると同時に、医者と患者という関係を超えた付き合いも多いそうです。「消化器が専門ですが、10年以上勤めていた日赤での経験から、外科をはじめとしてほとんどの応急処置ができます」とのこと。毎日50~60名の患者さんを診療しながら、往診や

パートナー医院を紹介します

定期的な訪問診療もこなす多忙な日々です。独立を機に新築された医院は、全館バリアフリー。待合室は吹き抜けの開放的な空間となっており、3畳ほどの畳の間も設置されていて、高齢者や乳児連れのお母さんもゆったりくつろげます。

京都きづ川病院とはパートナー以上

「きづ川病院とのお付き合いは、かれこれ10年ほどになります。どんな時でも対応してくれるのがありがたいですね。きづ川病院には当院がお願いした患者さんが常時2~3人はいますよ」という堀士先生は、京都きづ川病院が毎月開催する消化器系の勉強会にも毎回出席しているそうです。患者さんに関する連携だけにとどまらない非常に密接なパートナー関係。「診療や往診に追われてなかなか勉強する機会がないので、この勉強会は本当に役に立つんですよ。だからきづ川病院とはパートナー以上ですね」と語っていただきました。

TOPICS

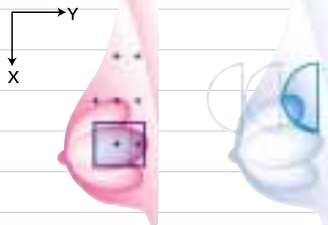


乳房X線撮影装置
MGU-100D

より詳しく撮影できるAEC検出器

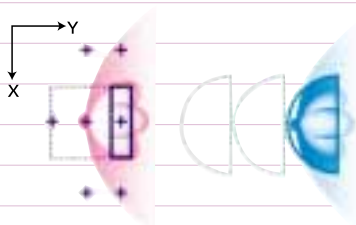
MGU-100D

他社機器



二次元(XY方向)
移動が可能

Y方向のみ



撮影受光部サイズ
切替が可能

サイズ固定のため
撮影効率が低減

マンモグラフィとは
乳房専用のX線撮影のこと
マンモグラフィは、乳房を片方ずつ、X線フィルムを入れた台と透明なプラスチックの板ではさんで乳房を平らにして(圧迫)撮影します。圧迫し乳房を薄くすれば、少ない放射能で撮影でき、均等に引き伸ばすことで、乳腺や脂肪、血管の重なりが分離されるので、小さなしこりもはっきり写し出せます。乳房全体の变化を捉えるので、定期検診に適

してきます。マンモグラフィにより、視触診だけではわからなかった早期がんの発見率が向上。最近では視触診+マンモグラフィの併用検診が導入、推奨されています。
高精度のマンモグラフィ装置を導入
京都きづ川病院では、14通りもの検出パターンをもつ世界初のマンモグラフィ専用AEC(自動露出制御)機構を搭載した、最新型マンモグラフィ装置を導入しました。これにより乳腺組織を的確にとらえ、より

乳がん検診を受けましょう
乳がんの予防・治療には、定期的な検診と、早期発見が何よりも重要です。厚生労働省も市区町村に対しマンモグラフィと視触診併用による乳がん検診実施を推奨、とくに50歳以上の女性については、2年に1回の併用検診を提言しています。女性の皆さん、ぜひ一度、当院へご相談ください。

近年、乳がん患者は増加傾向にあり、死亡率も高まっています。しかし、早期発見ができれば病気の進行を食い止められるばかりでなく、乳房の生存率も向上します。マンモグラフィは、女性のステータスを守ることを可能にする装置なのです。

乳がんの早期発見に「マンモグラフィ」

正確な読影(医師がX線写真を観察すること)ができます。また、ポジション操作が簡単で確実なため、マンモグラフィの画質を大きく左右する乳房の位置決めや圧迫を適切に行うことができ、微調整も可能。座位撮影もできるので、被検者の方の負担を軽くできます。

NEWS

患者様の個人情報とプライバシーについて

医療法人啓信会 京都きづ川病院

当院では、プライバシーに配慮しつつ患者様の個人情報を有効利用するため、以下のように取り扱っています。

- ① 医師・看護師・その他の職員がチームとして患者様の個人情報を共有し、治療にあたります。
- ② 最良の治療が受けられるよう、他の病院の医師等に個人情報を提供し、意見を求めることがあります。
- ③ 取得した情報は、医療保険事務や外来・病棟管理、医療安全対策、院内感染対策にも利用されます。
- ④ 取得した情報は、継続的に治療が受けられるよう、治療を引き継ぐ医師、診療所、病院、介護施設に情報を提供することがあります。
- ⑤ 当院では、検体検査の一部を業者に委託しています。それにともない、必要な範囲で個人情報を委託業者に提供します。
- ⑥ 病名や病態(緊急時など)により、ご家族に説明する場合があります。その際、説明させていただきご家族に制限がありましたら主治医にお申し出ください。
- ⑦ 学会や研究会、院内の勉強会で患者様の個人情報を発表する場合、できるだけ匿名化して利用します。匿名化が不十分と思われる場合には、同意を得て発表します。
- ⑧ 当院では、医師や看護師などの学生実習を引き受け、その際、患者様の個人情報を利用しています。取り扱いには厳しく指導・管理しておりますのでご協力をお願いします。
- ⑨ 入院の際に、医療安全のために、名前を提示していますが、どうしても自分の名前を表示したくない場合はお申し出ください。また、入院中の電話の取り次ぎやお問い合わせに対してもご希望されない場合はお申し出ください。
- ⑩ 電話で病状などの説明が必要な場合、可能な限り、患者様本人の同意を得て行います。その場合、身元確認のために、こちらから電話をかけて説明しますのでご了承ください。
- ⑪ 間違い防止のため、外来受付や診察室で名前の呼び出しを行っておりますが、名前での呼び出しを希望されない方は外来窓口にお申し出ください。
- ⑫ 診察案内や検査案内などで、止むを得ない場合、館内放送で名前をお呼びする場合があります。希望されない方はお申し出ください。

病院内の行事や予定などのインフォメーションコーナーです。ぜひ、ご覧ください。

ニュース掲示板

春の講演会のお知らせ

「体の健康、頭の健康」

講師 清水 鴻一郎氏 医療法人 清水会理事長

入場無料
定員200名

日時 平成17年6月19日(日) 午後2時～3時30分
会場 京都醍醐プラザホテル
宇治市六地藏奈良町74-1

試食会のお知らせ

楽しく作っておいしく食べて、健康になろう!

「お寿司大好き! 酢も魚も体にいいし…でも、ついつい食べ過ぎてしまうんだよね～」というあなたのために、お寿司を食べて体のことを考える試食会を開きます。

◆カロリーの気になる人へ……600kcalのお寿司!

◆塩分の気になる人へ……塩分3gのお寿司!

楽しく作っておいしくいただきます。皆さん、お気軽にお越しください!

日時 4月26日(火) 午後12時30分～1時30分

テーマ 「600カロリーの献立 にぎり寿司」

会場 当院4F講堂

費用 800円

病院の受付でお申し込みいただくか、またはお電話でご予約ください。

☎0774-54-1111

これからの試食会(予定)

●5月26日(木) ●6月25日(土) ●7月26日(火) ●8月25日(木)

●9月24日(土) ●10月25日(火) ●11月24日(木) ●12月24日(土)



京都きづ川病院 創立25周年
創立25周年を記念し、秋に講演会や健康まつりなど数多くの行事を開催する予定です。どうぞお楽しみに!

最良の医療サービスを提供するために、皆さんからのご意見をお待ちしております。
医療に関する疑問、質問など、お気軽にお寄せください。

啓信会グループ

京都四条病院 きづ川クリニック 老健施設萌木の村 訪問看護ステーションきづ川はろー
訪問看護ステーション萌木の村 ヘルパーステーション萌木の村21 ヘルパースクール萌木の村



医療法人 啓信会 京都きづ川病院

診療科目 内科・循環器科・消化器科・神経内科・放射線科・小児科・外科・
肛門科・脳神経外科・整形外科・泌尿器科・皮膚科・形成外科・
麻酔科・リウマチ科・リハビリテーション科

受付時間 午前診 午前8時30分～午前11時45分
夜診 午後5時～午後7時30分

*土曜夜診、日・祝は休診 *内科系はきづ川クリニックにて診療

〒610-0101 城陽市平川西六反26-1 ☎0774-54-1111 FAX 0774-54-1119



近鉄京都線「久津川」駅から徒歩15分
近鉄京都線「大久保」駅からタクシー10分